

1990年ドイツの体制転換は「文化国家」をいかに再編したか

— 人民議会選挙・連邦議会選挙の綱領の定性分析を通じて —

1. 本研究の背景と目的

国家体制が揺らぐ歴史的転換期には、政治・経済構造だけでなく「文化国家 Kulturstaat」の規範的枠組みも再編を迫られる。

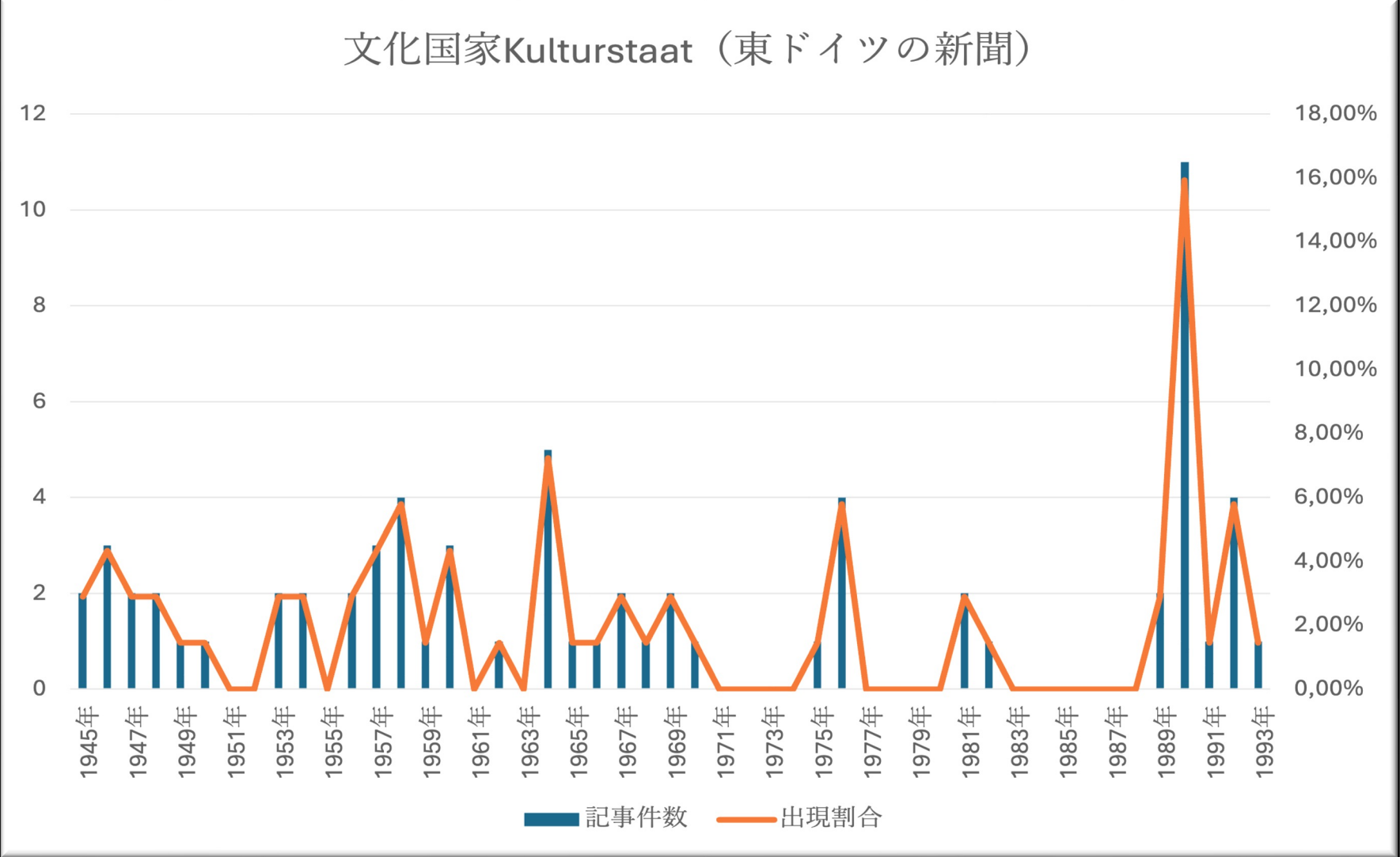


図1：東ドイツの新聞上の「文化国家」の出現率の推移（報告者作成）

- 「文化国家」の三つの層（A・クライン）

1. 規範的原理：国家が文化を積極的に支援するという「理念」
2. 組織原理：文化の資金提供・運営を国家が担うという「制度」
3. 社会的現実：文化が社会に深く根付いているという「事実」

- 異なる文化政策理念の衝突

西ドイツの「州の文化高権（連邦政府の不干渉）」と、東ドイツの「中央集権的な文化統制」という異なる伝統の衝突。

- 本研究の目的

転換期・統一過程の選挙にて、東西の政治勢力は「文化国家」の理念をいかに構想したか。「選挙綱領」の定性分析を通じて、新たな「文化国家」像をめぐる規範的次元の変容を解明する。

2. 先行研究の整理とリサーチクエスチョン

先行研究は「統一条約」という「2. 組織原理」や、東ドイツ文化景観の崩壊という「3. 社会的現実」に強い関心。
⇨ 各政党がどのような文化政策理念を提示し、文化国家像をどう構想したのかという「1. 規範的原理」としての文化国家の解明は手つかずであった。

- 先行研究の到達点と限界

制度史・社会史への偏重：
「統一条約」第35条の「時間稼ぎ」的側面 [Ackermann 1992]
東ドイツ文化施設の崩壊・財政的困難について。

文化政策研究の空白：

- 2008年の各党文化政策の整理 [Zimmermann, Geißler 2008]
- 1994年連邦議会選挙綱領上の文化政策の評価 [Glaser 1994]

- 本研究の視角とアプローチ

A・クラインの「規範的原理」としての文化国家を分析視角に、1990年の2つの国政選挙（人民議会選挙・連邦議会選挙）の「選挙綱領」を一次史料として定性的に分析する。

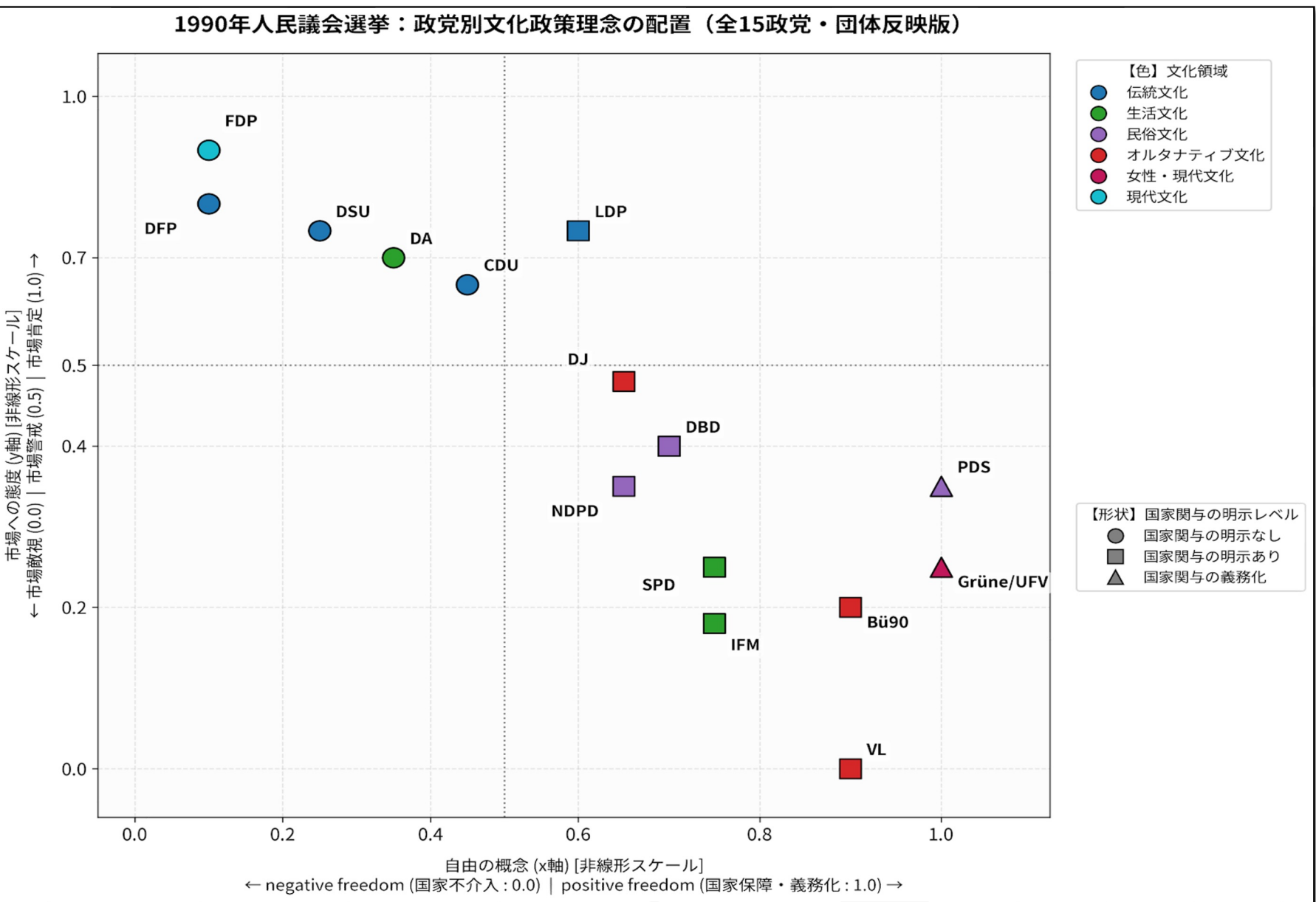
- 解明すべき2つのリサーチクエスチョン

- ① 体制崩壊期から国家の統合期へ：
芸術文化に対する国家の役割は各党でどう位置づけられたか。
- ② 3月（人民議会選挙）から12月（連邦議会選挙）にかけ、
綱領上の議論の焦点はどう変化したか。

3. 史料の分析と考察

【ブロック1：人民議会選挙（1990年3月）】

各政党から多様な文化国家像の噴出。
東ドイツで見られた「検閲」の廃止は「絶対的前提」。
→ 「国家の支援」と「市場への態度」の程度は、政党間で差。



グラフ1：人民議会選挙における政党別文化政策理念の配置図（報告者作成）

保守・自由主義右派（左上ブロック）

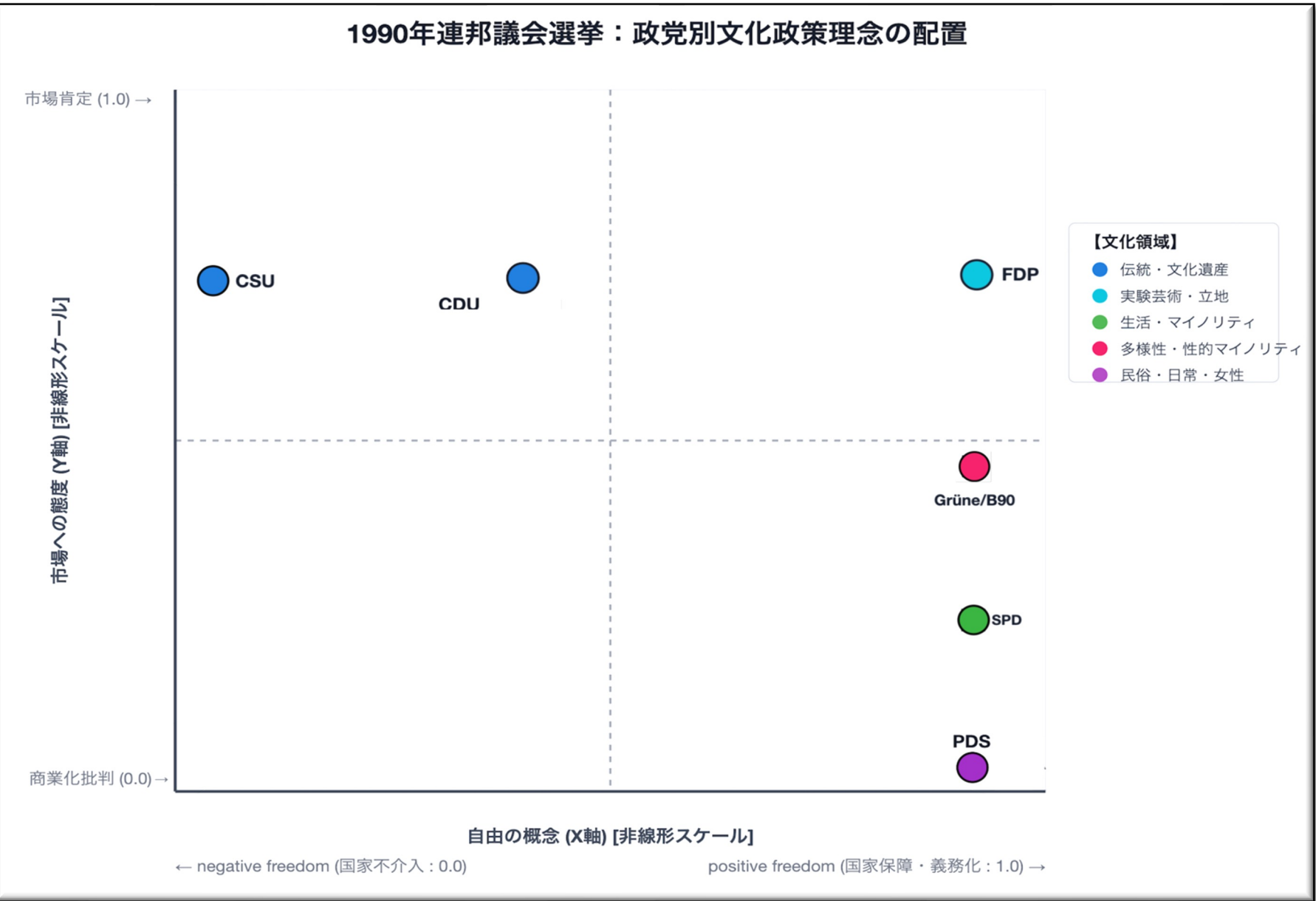
「国家の検閲・干渉排除」×「自律的な文化振興」

左派・市民運動系（右下ブロック）

「国家による保障」×「商業化への警戒」

【ブロック2：連邦議会選挙（1990年12月）】

経済・雇用が優先課題となり、綱領上の文化政策の記述が減少。



グラフ2：連邦議会選挙における政党別文化政策理念の配置図（報告者作成）

保守政党：「州の文化高権」や伝統文化の保全を重視。
自由主義政党：国家・欧洲的に重要な文化の国家主導を要求。
リベラル政党：国家の経済的責任や法制化を要求。
左派政党：東ドイツの文化景観崩壊への危機感。

4. 結論

1990年の2つの選挙は、東西の文化政策伝統が交差する中で、国家不介入と国家保障の対立といった価値観の揺らぎを通じて、「文化国家」という理念が再編される場として機能した。
→ 制度や文化景観の変化が当時いかなる国家観・価値観のもとで位置づけられていたかという、新しい分析視角が得られる。

一次史料・参考文献（抜粋）

• Ackermann, M. *Der kulturelle Einigungsprozess: Schwerpunkt: Substanzerhaltung*. Bonn - Bad Godesberg: Friedrich-Ebert-Stiftung, 1991.
• Huber, E. R. *Zur Problematik des Kulturstaats*. Tübingen: J.C.B. Mohr, 1958.
• Klein, A. Kulturstaat. in: Voigt, R. [Hrsg.] *Handbuch Staat*. Wiesbaden: Springer VS, 2018, S. 329-338.
• Müller-Enbergs, H. *Volkssammerwahlen in der DDR 1990: Synopse von (Wahl-) Programmen 15 kandidierender Parteien*. Berlin: Zentralinstitut für Sozialwissenschaftliche Forschung, 1990.
• Reuter, U., Clouth, N. *Dokumentation zur Entwicklung der neuen Parteien in der DDR (Februar 1990-April 1990)*. Bonn: Gesamtdeutsches Institut Bundesanstalt für gesamtdeutsche Aufgaben, 1990.
• Zimmermann, O., Geißler, T. [Hrsg.] *Kulturpolitik der Parteien: Visionen, Programmatik, Geschichte und Differenzen*. Berlin: Deutscher Kulturrat e.V., 2008.

